



三重県 鈴鹿市長 末松 則子 SUEMATSU NORIKO

外国人集住都市会議オンラインシンポジウム2024

本日の内容

1

直近の外国人人口の変化について

2

“言葉の壁”解消の重要性

3

これからの“企業の日本語教育”について

1 直近の外国人人口の変化について

外国人人口の3つの特徴

外国人人口の増加

リーマンショック以降、最多となり、毎月増加

労働者の増加

技能実習生、特定技能等の増加

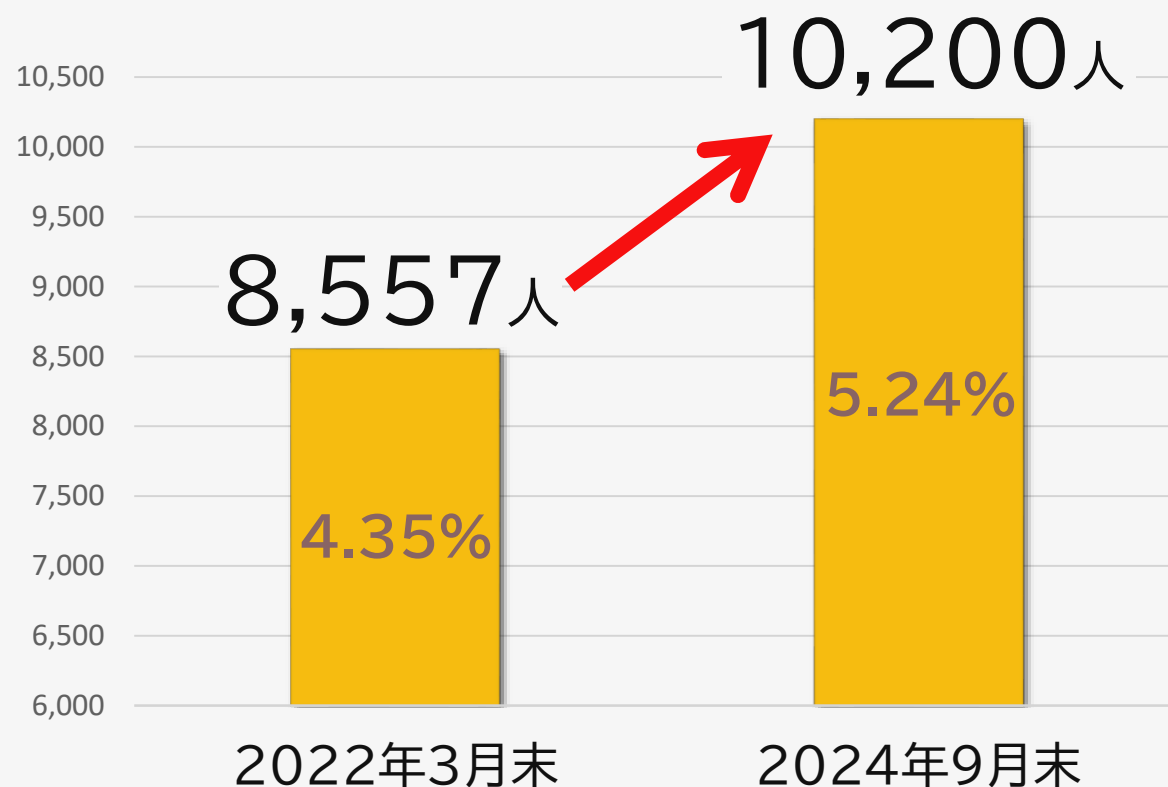
多国籍化

ベトナム、スリランカ、ネパール等を中心に急増

1 直近の外国人人口の変化について

鈴鹿市の外国人人口

～コロナにより外国人人口が最も減少した2022年3月末と直近の数値を比較～



コロナ前からの増加数

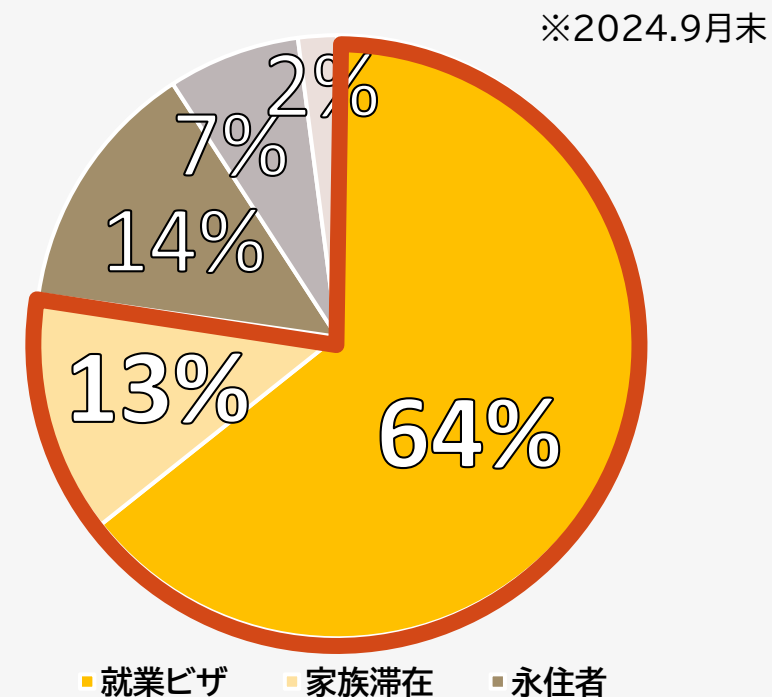
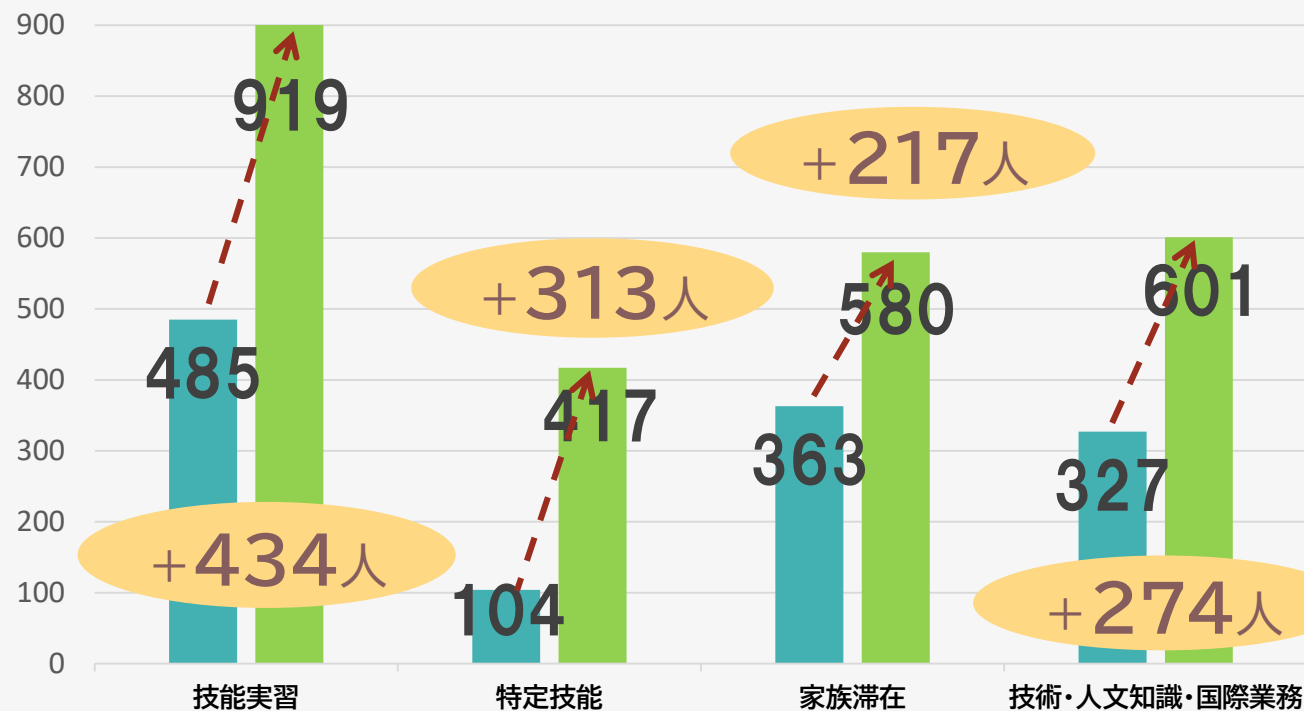
+1,643 人

総人口194,757人の内、外国人人口比率は5%を超える。コロナ以降、外国人人口は毎月50～60人のペースで増加しており、リーマンショック前(2008.10末:10,491人)の水準に。

1 直近の外国人人口の変化について

外国人労働者の人口

～コロナにより外国人人口が最も減少した2022年3月末と直近※の数値を比較～



“地域の生活者”として受入れるためには・・・

2 “言葉の壁” 解消の重要性

鈴鹿市の多文化共生に関するアンケート調査(2022年)

日本人市民

交流の課題は「言葉の違い」にある

48.2% ※最多回答

外国人と話をする機会が多い場所

仕事・職場 **27.0%** ※最多回答

外国人市民

理解可能な言語: やさしい日本語

42.7% ※最多回答

日本人と話をする機会が多い場所

仕事・職場 **76.6%** ※最多回答



2 “言葉の壁” 解消の重要性

外国人を雇用する企業へのアンケート（53社※）

日本語能力が課題

81.1%

外国人を雇用する上での課題に日本語能力と回答した割合は、文化・習慣の違い（45.3%）、仕事に対する姿勢（24.5%）等を上回り最も高い。

日本語教育が必要

84.9%

外国人従業員に日本語教育が必要と答えた企業は8割を超える。

公的支援の必要性

52.8%

企業内で日本語教育を実施する上で、約半数の企業が公的な支援が必要と回答

※外国人を雇用する上で「課題がある」と回答した企業数

2 “言葉の壁” 解消の重要性

外国人を雇用する企業へのアンケート(53社)

自社で日本語教育を実施している企業の割合

15.1%



撮影協力:株式会社トピア

企業の声



- ・日本語教師を派遣するために**コストがかかる**ため、実施が困難。公的な支援があると大変ありがたい。
- ・時間外に実施するとなると、従業員から**時間外勤務手当**を求められる。会社としては、強制はできない。
- ・**法律(日本語教育推進法)**で、企業が従業員に日本語教育を実施しなければならないことを**知らなかった**。
- ・外国人従業員**本人にやる気**になってもらわないと、企業側がアプローチしても意味がない。

3 これからの“企業の日本語教育”について

地域の日本語教室

教室

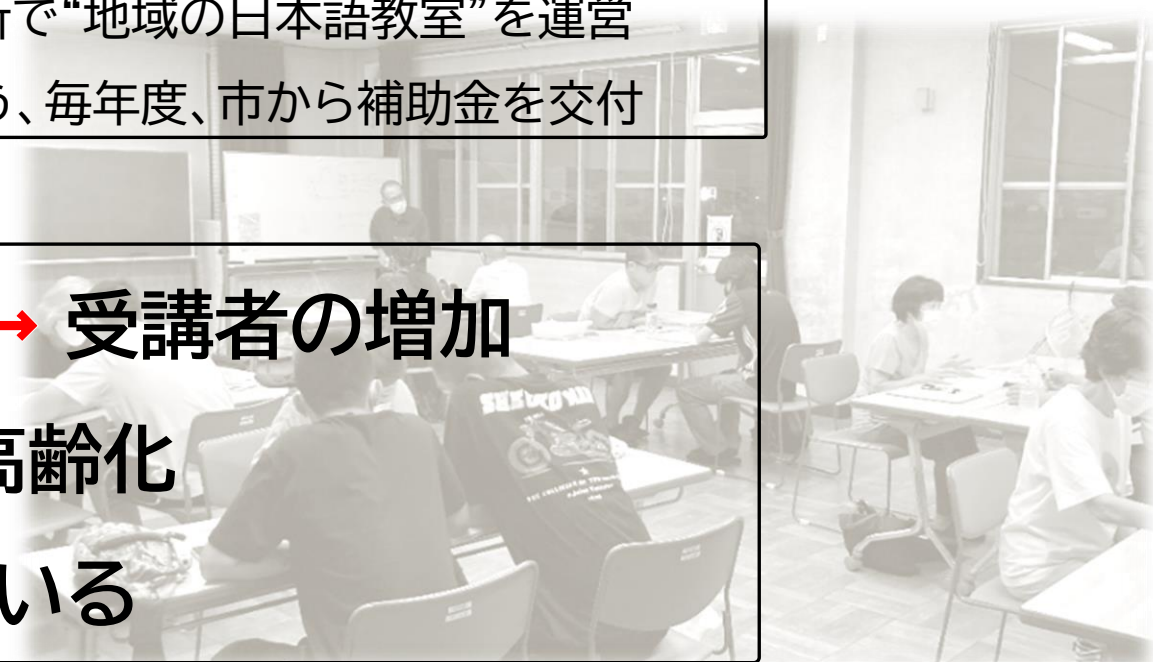
①鈴鹿日本語会AIUEO ②桜島日本語教室 ③牧田いろは教室

概要

- ・市民ボランティアにより、市内3か所で“地域の日本語教室”を運営
- ・安定的な教室運営が可能となるよう、毎年度、市から補助金を交付

課題

- ・**外国人労働者の流入 → 受講者の増加**
- ・ボランティアの減少、高齢化
- ・市内3か所に限られている



3 これからの“企業の日本語教育”について

関係各機関との連携

三重県×鈴鹿市

オンライン
日本語教室県と市、県国際交流財団、日本語ボランティア
が協力し、企業向けの日本語教室を実施

令和6年度文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」

“話して”“聞いて”日本語能力アップ！

オンライン **無料**

日本語教室

三重県と鈴鹿市が連携をして開催するオンライン日本語教室です。
外国人従業員の皆さんが鈴鹿市で安全・安心に働くため、
生活に必要な日本語を学ぶことができます。

対象
鈴鹿市内の企業で働く
外国人従業員 15人程度
★日本語レベルは、初級または初中級レベル
(日本語能力試験N5～N3相当)を想定して
います。

申込
外国人従業員を雇用する
企業のご担当者から
お申込みください。
※切：9月30日(月)
※お申込み後、担当者から
詳細をご連絡します。

申込フォーム

<https://k.gd/v0d2E>

日程 全7回
オンライン (Zoom) (計6回)
10月18日, 25日
11月 1日, 8日, 15日, 22日
※全日金曜日 18:00～19:00

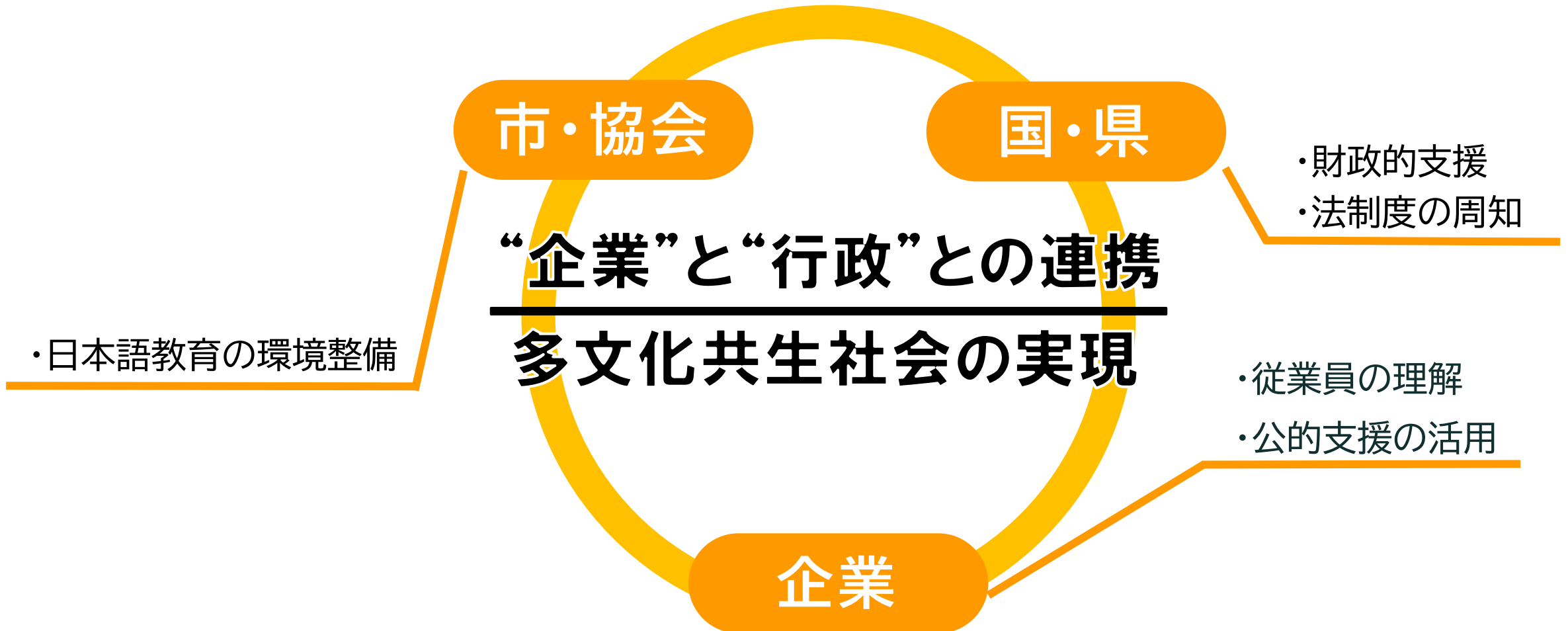
対面 (1回) 
12月7日(土) 9:30～11:45
「命を守るための日本語を学ぼう」
～“やさしい日本語”でのAED・心臓蘇生法講習～
場所：鈴鹿市消防本部
(鈴鹿市飯野寺家町217-1)

問合せ先 日本語教室のこと (公財) 三重県国際交流財団 奥村、山本 TEL: 059-223-5006 MAIL: mief@mief.or.jp
参加に関すること 鈴鹿市 市民対話課 園分 TEL: 059-382-9058 MAIL: shimintaiwa@city.suzuka.lg.jp

主催：三重県 共催：鈴鹿市 実施：(公財) 三重県国際交流財団

3 これからの“企業の日本語教育”について

企業の日本語教育の促進に向けて



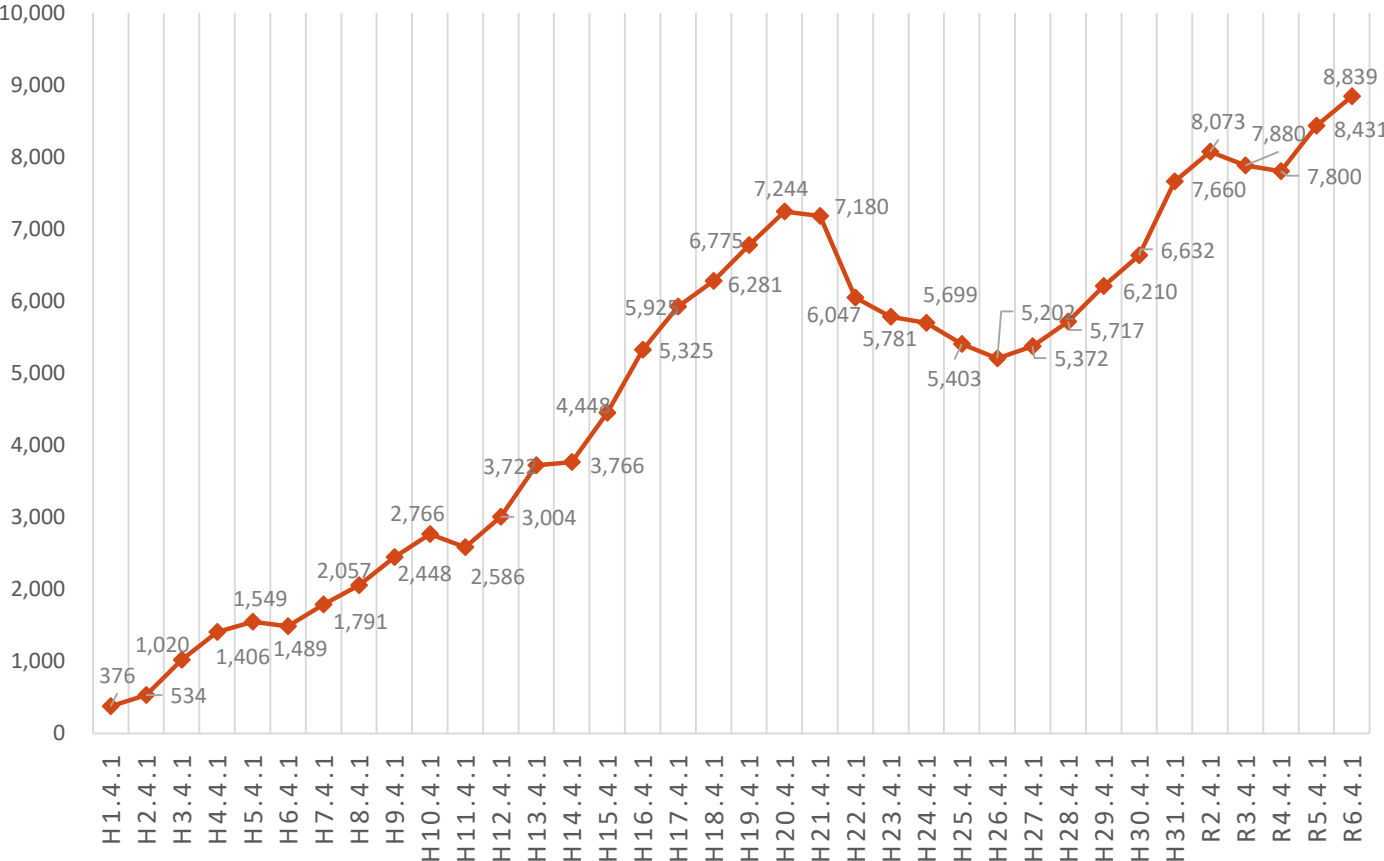


岐阜県 可児市長
富田 成輝
TOMIDA SHIGEKI

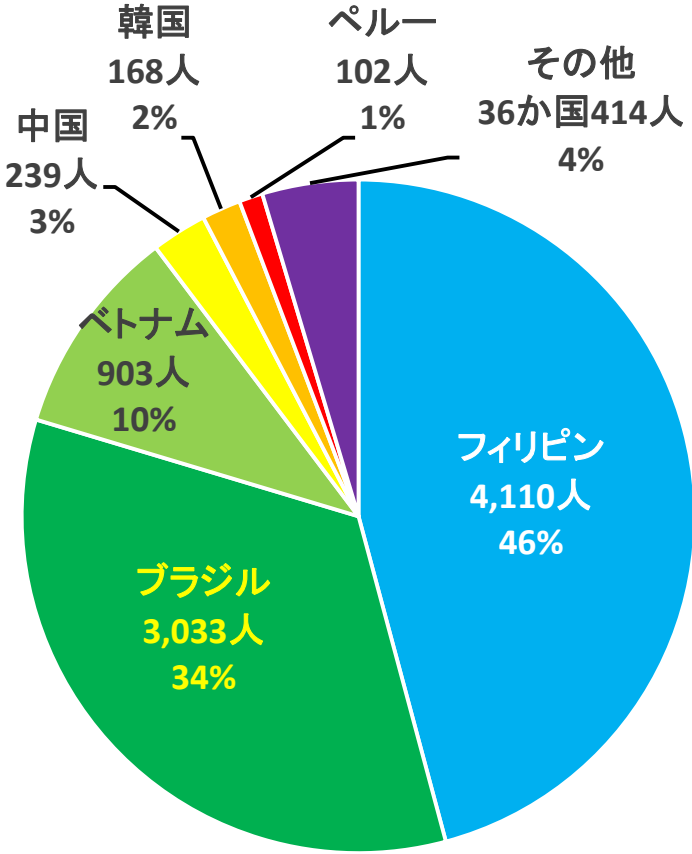
外国人集住都市会議オンラインシンポジウム2024

可児市の外国籍市民

外国籍市民の推移（各年4月1日現在）

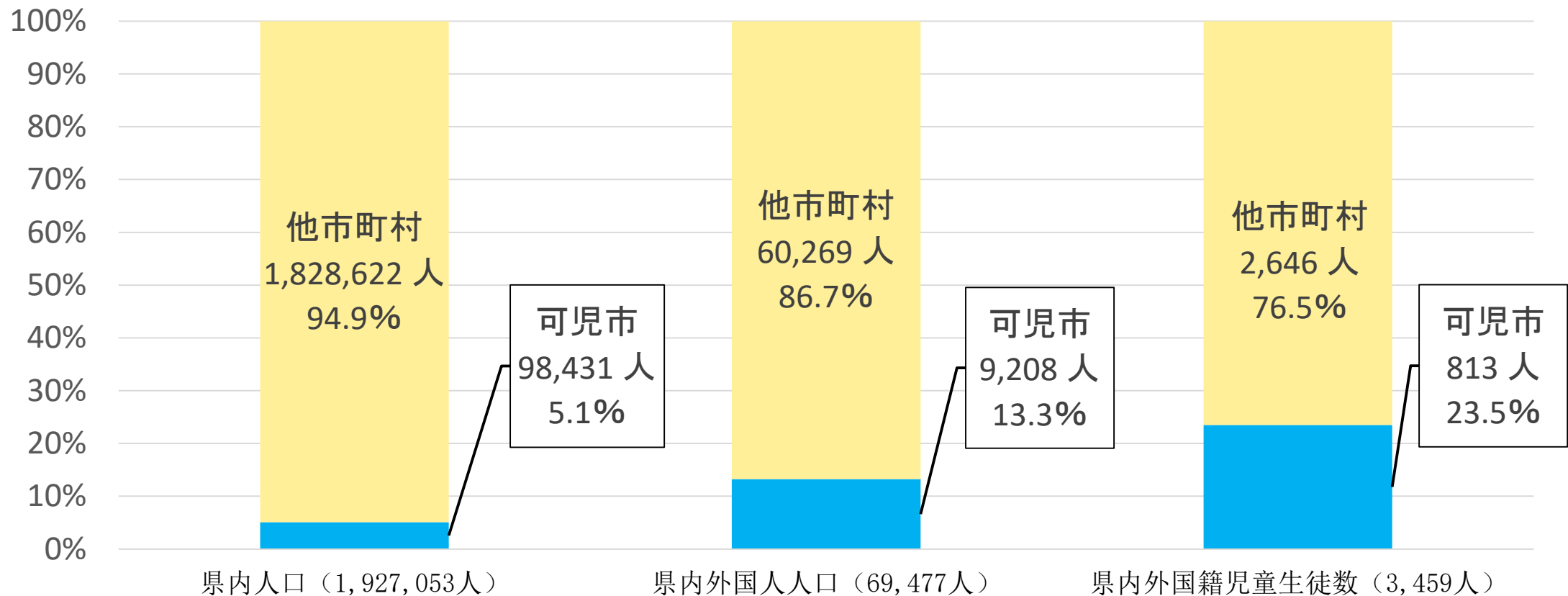


外国籍市民国籍別人口（R6.10.1現在）



可児市の現状

岐阜県の人口・外国人人口・外国籍児童生徒数における可児市の割合



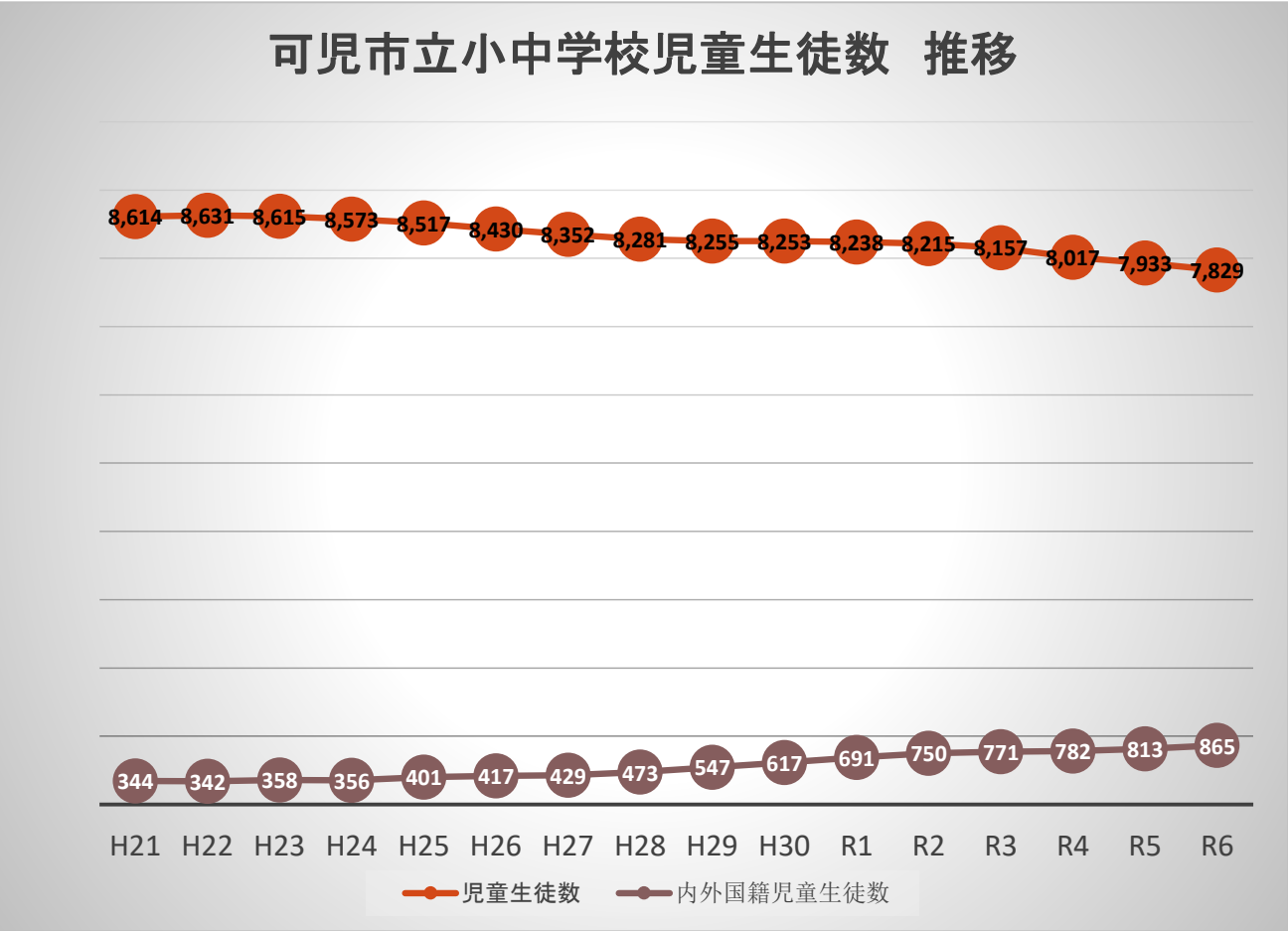
出典:岐阜県統計課「岐阜県人口動態統計調査」
R6.1.1現在

出典:法務省「在留外国人統計」R5.12月末現在

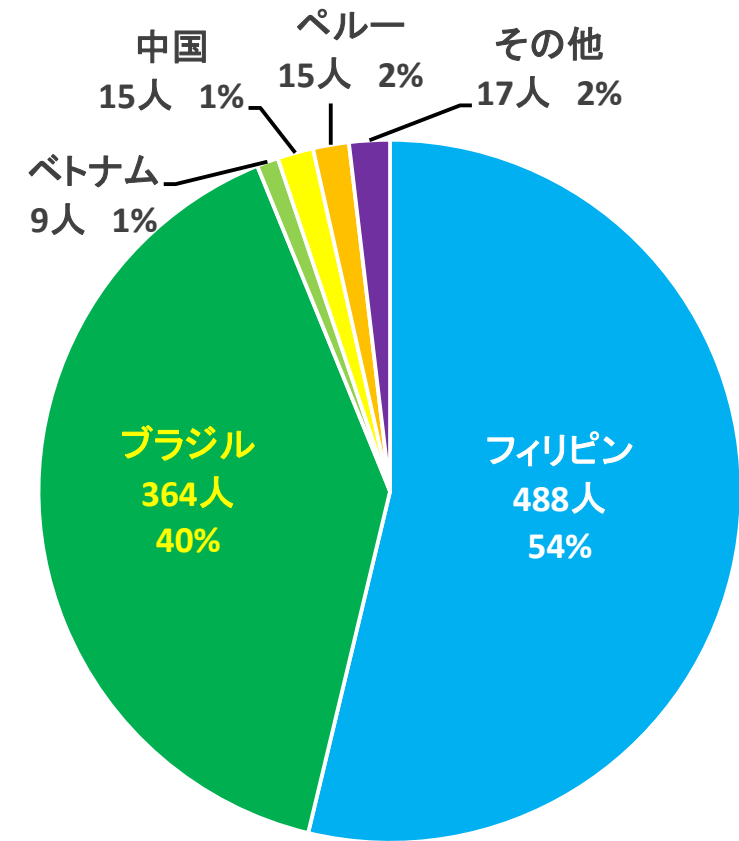
出典:文部科学省「学校基本調査」R6.5.1現在

可児市の外国籍児童生徒

外国籍児童生徒数の推移（各年5月1日現在）



外国籍児童生徒数(国籍別)（R6.10.1現在）



取り組み ① ばら教室KANI



▲あさのかい「あいうえお」



▲かさの さしかた



▲くつの
はきかた



▲はしの れんしゅう



▲ひらがな おぼえたよ



▲がっこう たいけん ときどき

◇ 平成17年 第1ばら教室KANI 開設

◇ 令和 2年 第2ばら教室KANI 開設



▲ずこう はっぱを つかって



▲さんすう なんセンチかな



▲にほんごの べんきょう



▲ちいきのかた よみきかせ



▲たいいく けんどう「めん」



▲しょしゃ もうひつ たのしいよ



▲きゅうしょく おいしいよ

取り組み ② 可児市多文化共生センター

指定管理事業 多文化共生センター・フレビアの運営 ～可児市国際交流協会～

①情報の提供

- 地域の情報をFacebook等を活用して多言語で提供。

②日本語の学習支援

- 地域生活に必要な会話や言葉を学ぶ日本語教室を開催。
- 企業で外国籍従業員と一緒に働いている日本人を対象に「やさしい日本語」の出張講座を実施。



多文化共生センター フレビア
平成20年 設置



多文化共生フェスティバル

③外国籍市民相談

(ポルトガル語、タガログ語、英語)

- 日常生活全般、市民活動や交流などの相談業務を実施。
- 月1回の無料法律相談会（法テラスと連携）、在留資格相談会（入国管理局と連携）を実施。

④交流の場の提供

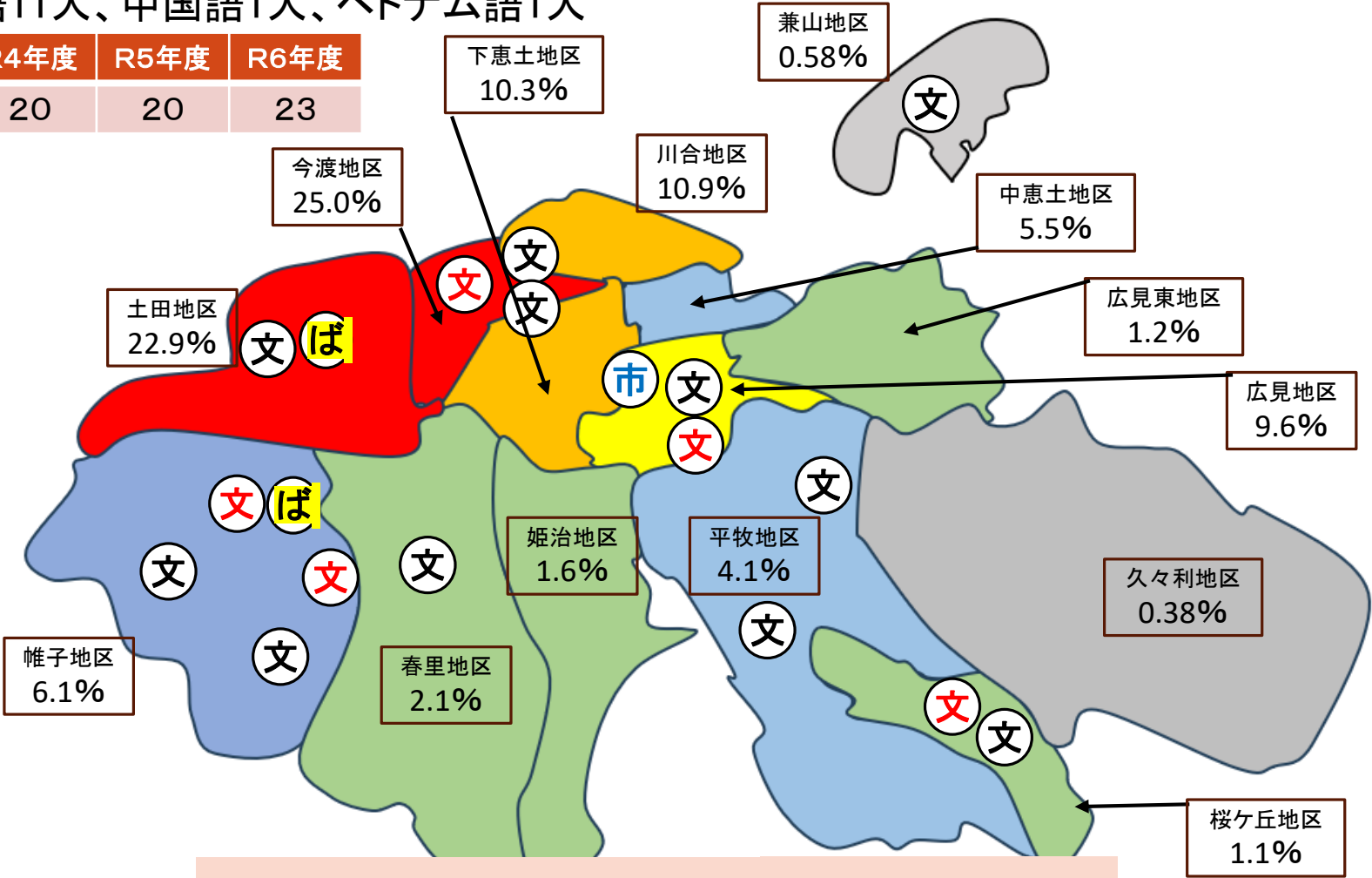
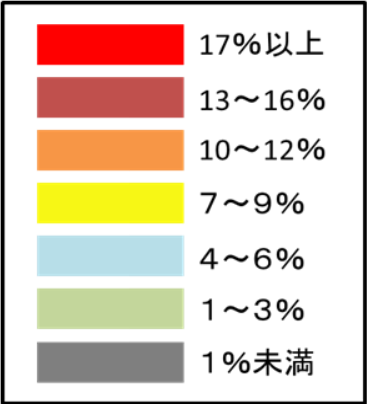
- 外国人と日本人との交流の場「多文化共生フェスティバル」を開催

取り組み③ 通訳サポーター

・ポルトガル語10人、タガログ語11人、中国語1人、ベトナム語1人

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
人数	17	18	20	20	20	23

- ⓪ 小学校(11校)
- ⓧ 中学校(5校)
- ⓑ ばら教室KANI(2か所)
- Ⓢ 可児市役所



地区別外国籍居住者の割合 (令和6年9月1日現在)

取り組み ④ 外国人の子ども就学支援事業（市委託事業）

- ・外国籍市民の子どもを対象にした各種就学支援。
- ・すべての教室において、小中学校、幼稚園・保育園等関係機関と可見市国際交流協会が連携をとり支援を実施。

教室名	ひよこ教室	きぼう教室	ゆめ教室	さつき教室
対象	未就園児	小中学生	不登校等の子ども	就学年齢を超えた子ども
内容	就学前準備指導	小中学生補習教室	不登校等支援教室	高校進学支援教室
	日本語に慣れる、集団生活・学校のルールを学ぶ	日本語や教科等を指導する補習教室 小中別に土曜日、夏季休暇中に実施	学校につなげる日本語、教科指導 進学等に向けた支援教室	日本語と教科指導、入試対策等のサポート
教室の様子				

今後の課題

通訳等人材育成、人材確保とそれに伴う予算確保

○多文化共生・国際交流関係事業費(令和6年度予算)

予算額: 196,535千円

◇一般財源: 165,291千円(84.1%)

◇特定財源: 31,244千円(15.9%)

国庫補助: 23,311千円
県補助: 2,933千円
その他補助: 2,000千円
助成金: 3,000千円

多様性への対応

○日本語指導が必要な児童生徒の拡大・多国籍化

安定した生活のためのキャリア形成

○所得の向上

○進学や正規職員へ向けたキャリア形成の支援



群馬県 大泉国際交流協会 会長 糸井 昌信

ITOI MASANOBU

外国人集住都市会議オンラインシンポジウム2024

大泉町の概要



■町の位置

大泉町は群馬県の東南に位置し、地形は平坦で、東は邑楽町、千代田町に接し、西から北にかけて太田市、南は利根川をはさんで埼玉県熊谷市と隣接しています。

■産業

戦時中の旧中島飛行機製作所の跡地に、戦後現在の基幹産業である自動車工業（スバル）や電機産業（パナソニック 旧三洋電機）が進出しました。町内の工業団地には、食品、機械をはじめ多くの中小製造業があり、県内有数の工業地域として活発な経済活動を展開しています。

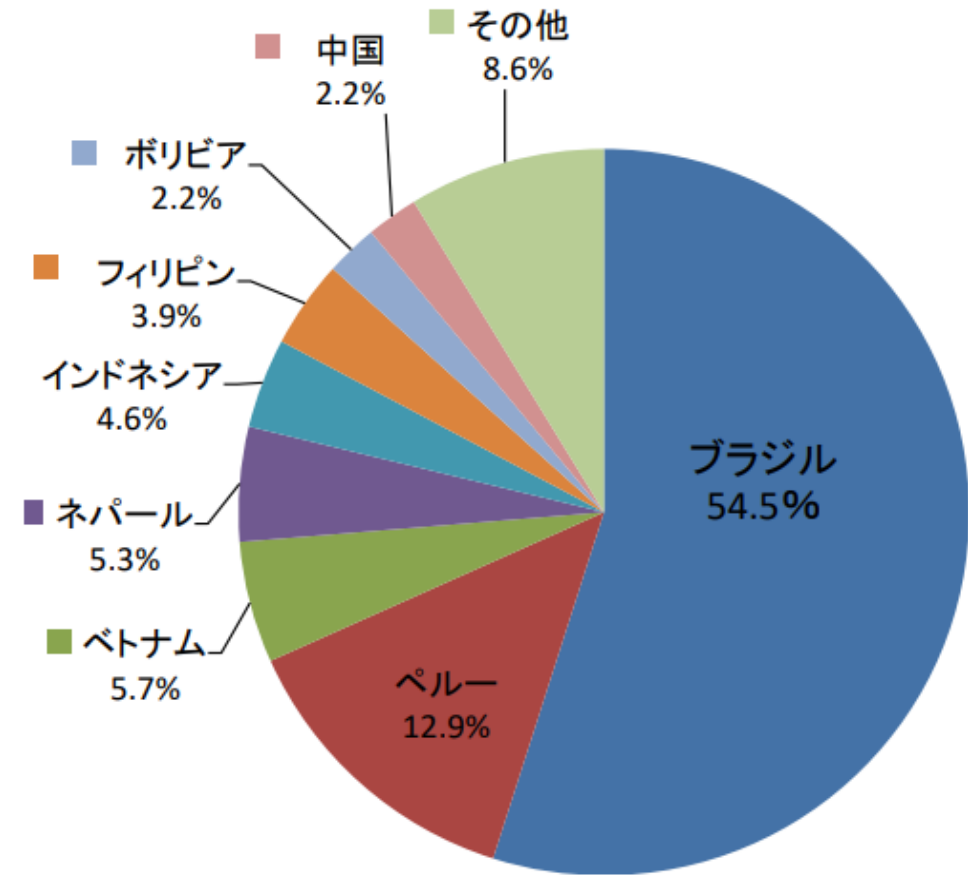
■外国人の増加

平成元年当時、中小企業は深刻な人手不足に陥っていたため、入管法の改正により日系人の直接雇用をはじめました。その後、派遣等雇用形態の変化により、大企業にも広がっていきました。

大泉町の外国人の状況(1)

外国人人口及び比率（令和6年3月末日現在）

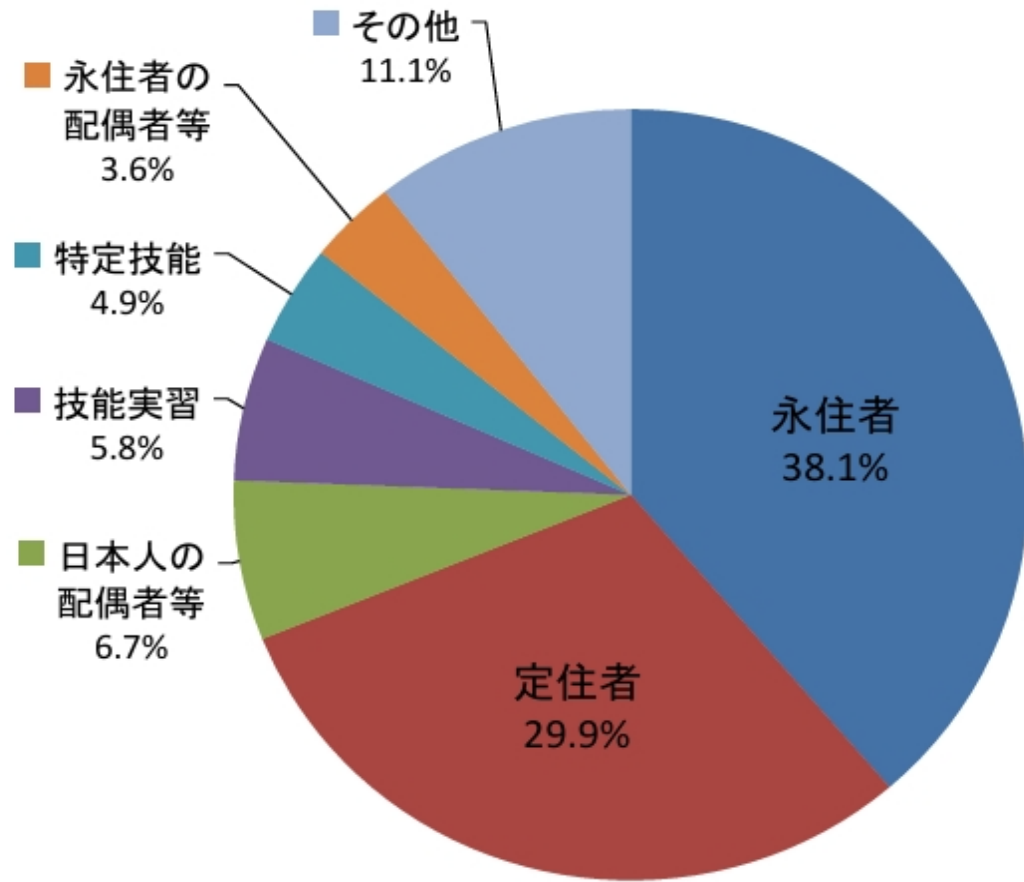
順位	国名	外国人人口 (人)	外国人人口に 占める割合 (%)	町総人口に 占める割合 (%)
1	ブラジル	4,584	54.5	11.1
2	ペルー	1,086	12.9	2.6
3	ベトナム	480	5.7	1.2
4	ネパール	443	5.3	1.1
5	インドネシア	390	4.6	0.9
6	フィリピン	324	3.9	0.8
7	ボリビア	188	2.2	0.5
8	中国	186	2.2	0.4
その他		724	8.6	1.7
計(全51カ国)		8,405	100.0	20.29
大泉町の総人口		41,424	※内訳は四捨五入しているため合計と一致しません	



大泉町の外国人の状況(2)

外国人の在留資格及び比率（令和6年3月末日現在）

在留資格	人数 (人)	割合 (%)
永住者	3,199	38.0
定住者	2,515	29.9
日本人の配偶者等	560	6.7
技能実習	488	5.8
特定技能	409	4.9
永住者の配偶者等	299	3.6
その他	935	11.1
計	8,405	100.0



大泉国際交流協会の概要

●設 立

平成7年(1995年)7月 民間のボランティア団体として設立

●目 的

国際交流と友好親善を図り、広い視野と国際感覚豊かな町民育成のための必要な事業を行い、世界に開かれた町づくりに寄与することを目的とする。

※会員制をとっていない。会の趣旨に賛同する者は会員である。

※会の運営

- ・大泉町からの補助金(事業費の補助)
- ・企業等からの賛助金

大泉国際交流協会の日本語講座

●平成7年（1995年）国際交流協会発足当時の日本語講座

①ブラジルをはじめとした日系人 ②インドネシアからの研修生 ③町内企業の関係でアジアからの駐在員等が受講者でした。

※町内の代表企業に対して、日本語学習への協力を依頼した経緯もありますが・・・現在に至っています。

●現在の日本語講座

①通年コース： 毎週水曜日 金曜日 午後7時～9時
日曜日 午前10時～12時

②N1N2 コース： 受講者の希望により開催 土曜日午前10時～12時
（令和6年度 開催していません）

※受講希望者の在留資格、居住地は、問いません

日本語講座の受講者(1)

●日本語講座受講者登録者数

(2024.8.1現在)

116人

男性 73人

女性 38人

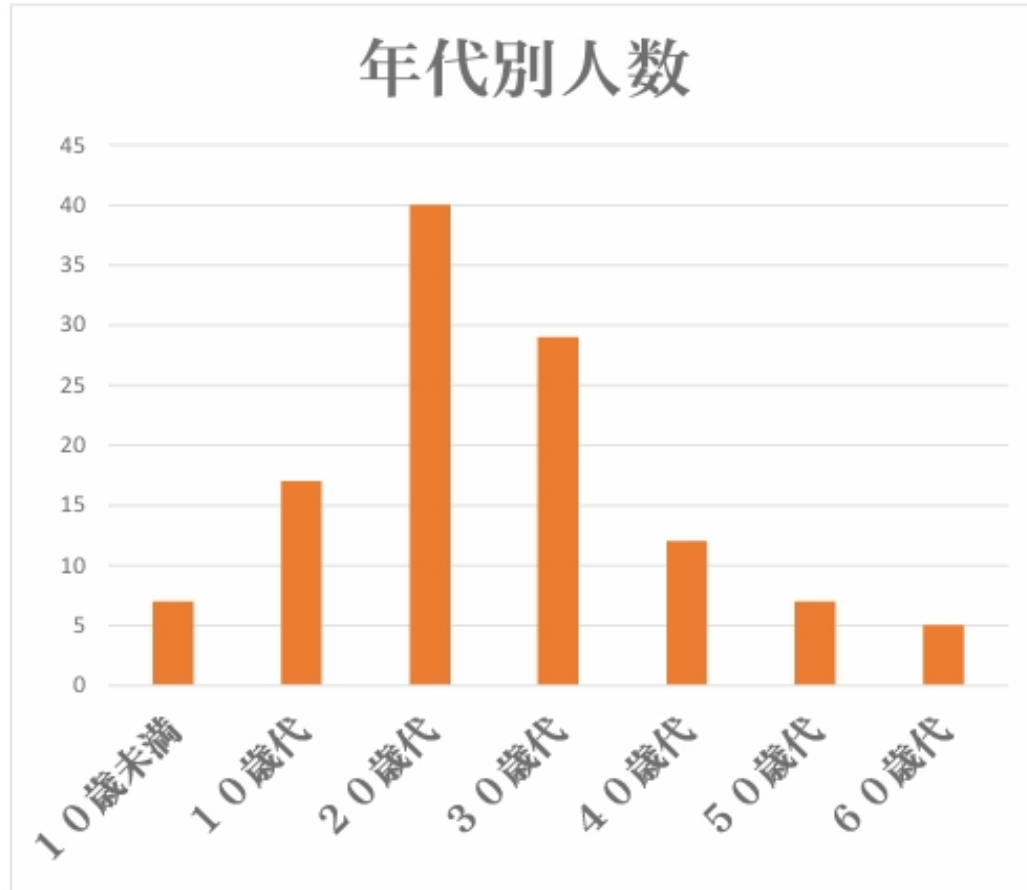
未確認 5人

※群馬県全体の国籍別外国人は、①ベトナム
大泉町の国籍別は①ブラジルですが、日本語講座の登録者は①ネパールとなっています。

国籍別上位人数及び割合

国 籍	人数 (人)	割合 (%)
ネパール	29	25
ブラジル	20	17
インドネシア	12	10
フィリピン	10	8
ペルー	9	7
パキスタン	8	6
ベトナム	4	3
その他	24	20

日本語講座の受講者(2)



年代	人数
10歳未満	7
10歳代	17
20歳代	40
30歳代	29
40歳代	12
50歳代	7
60歳代	5

受講者に聞いてみました(1)

●講座受講者20人と面談

内訳:アジア(ベトナム、フィリピン等)10人 南米(ブラジル、ペルー等)10人

◎平均滞在期間:アジア 4年6ヶ月 南米 5年

◎日本語講座に来る理由(重複)

アジア:①漢字等文字:60% ②会話:50% ③学習のため:10%

南 米:①漢字等文字:100% ②会話:40% ③学習のため:10%

◎その他意見等

アジア:①仕事で日本語が必要だが学ぶ場、時間がない。

②仕事を探すのに日本語が必要。

③自動車の免許をとるのに、日本語と日本の習慣などを知りたい。

④N4を持っているが、ビジネス用語をもっと知りたい。

⑤自国で義務教育は終わっている。日本で高校受験を目指したい。

⑥幼稚園年長、来年小学校に入学するが日本語、特に学習日本語に不安がある(父親の言葉)。

受講者に聞いてみました(2)

- 南 米: ①町内企業で働いている。日本語をこれまで学んだことがない。
②漢字が苦手だ。
③日本での滞在が5年になるが、日本語を学んだことがない。
日本語は、会話や漢字など、難しい。
④県立高校の生徒。漢字をもっと勉強したい。将来希望する職業のために、情報を知りたい。



大泉町における地域日本語講座(教室)は.....

- ①日本語(会話、文字等)を学習する場。(初歩からN1N2受験まで)
- ②居場所づくり
 - ・日頃、話をする機会のない人のより所。
- ③情報交換の場
 - ・同国者、受講者間の仕事等の情報交換。
- ④生活者としての情報を得る場所
 - ・日常生活を送るための情報。
 - ・役場等からの行政情報(警察による交通安全教室の実施も)。
- ⑤**子どもの学習日本語習得の補助**
 - ・日本語を理解しても、学習日本語の理解は難しい。

⑤特に子どもの教育については見逃せない

- ◎来日した年齢(日本で誕生した子)、日本語能力がバラバラです。
- ◎家庭での教育はどうだろう。
- ◎保護者が日本の教育を受けていないと、子どもの宿題を見てやれない。
- ◎高校受験を希望しても日本語の能力、学力がどのようなものか。

教育委員会、学校の対応は……

- ◎大泉町内全ての小学校(4校)中学校(3校)に日本語学級が設置されています。
隣の太田市にも国際教室が設置されています。
- ◎なおかつ、プレスクールの的な役割をもったものも設置されています。
- ◎入学説明会、高校への進学説明会を開催しています。
- ◎県委託事業として、子どもの貧困対策のために学習支援を実施しています。

※折角、日本に来たのだから、良い印象を持ってもらいたい。(中学校教員の言葉)

国際交流協会としては……

- ①宿題、学習の支援をしています。
- ②日本語講座の他に、子どもたちへの学習支援を開催しています。
- ③高校受験に備えて、教科学習を実施しています。
- ④受験希望の高校に担当役員、ボランティアが行き、情報の収集をしています。

■公立小中学校の児童生徒数（令和6年4月8日現在）

	総 数	外国籍人数	割 合 (%)	国籍数
小学校(4校)	1,928	433	22.5	24
中学校(3校)	981	216	22.0	16
7校合計	2,909	649	22.3	25

学習支援・教科学習



教育委員会主催のプレスクール



その他相談事例

- 国民健康保険への加入について(在留資格の問題)。
- 仮放免の者のワクチン接種について(コロナ禍で)。
- 特定技能試験に合格したが就職先が見つからない。
- 高校受験に際して進学先の選択について。

＊直接日本語講座受講者が関わっていないが相談された事例

- DV(夫婦間)の相談。
- 厚生年金に入れなかったので年金額が少ない(裁判に発展)。
- 無免許運転での交通事故(自損事故で負傷)。
- 在留資格が無いものの就職についての相談。
- 認定こども園でポルトガル語の通訳を探しています(保護者とのコミュニケーションが難しい)。
- 小学校でクメール語の通訳を探しています(カンボジア人児童)。

課題として……考えられること

- 1 地域日本語講座のボランティアは、日本語指導とともに、幅広い見識が要求される。…スキルアップは？
- 2 現在は、元企業戦士（海外駐在の経験もある）、元教職員等が多いが、今後、新たに加わるボランティアにどのように引き継がれて行くか。…経験から得た知識の伝承？
- 3 多様化する問題解決に向けて、他団体・機関等とのより緊密な連携が要求される。…教育、労働、法律等。
- 4 支援の限界について。…今後、対応できるかどうか。

TO BE CONTINUED !



資料出典：大泉町多文化協働課
大泉町教育委員会
大泉国際交流協会



トピア自社製作EVコンセプトカー
Grand-Huvo



グローバルな生産体制に欠かせない
外国人との共創

トピアとは

「未来」の
自動車・工業製品などの
“試作”を専業として行う
業界最大手の専門メーカーです。

国内外の様々な自動車メーカーの
新製品の開発に伴う試作に当社が関わらせて
頂いています。



会社概要

本社所在地	三重県鈴鹿市
設立年月日	1973年8月16日
売上高	270億円（連結） *2024年3月期実績
従業員数	1050名（連結） *2024年4月1日現在
事業内容	自動車・工業製品の試作開発



トピアは国内試作業界の“リーディングカンパニー”として先進技術に取り組み
未来の自動車・工業製品の開発に携わっています。

拠点紹介



TPAM

OH 営業所,溶接工場

LYSEON NA

OK 量産合併会社



新工場設立中



TOPIA do Brasil

サンパウロ営業所



EU-Topia GmbH

フランクフルト営業所



TVEC

ベトナムCADセンター



TOPIA SG PTE.LTD.

シンガポール営業所



上海拓平貿易

アジア営業本部

拓彼亜科技常熟

江蘇省工場



鈴鹿本社
工場

名古屋
営業所

トピア ネクステージ
人材派遣

(株)エムファクトリー
工場

埼玉
CADセンター&営業所

神奈川
CADセンター&営業所

神奈川
CFRP 工場

国内7拠点、海外では6か国8拠点にグローバル展開をしています。（関連会社含む）

トピアの強み（トータルプロダクト体制の実施）



トータルプロダクト体制

金型設計

金型製作

プレス加工

トリミング
加工

溶接組立

検査

製品の型＝金型
の設計図を作成

マシニング機械
で金型の製作

金型の間に鉄板
を挟んで部品の
形にする

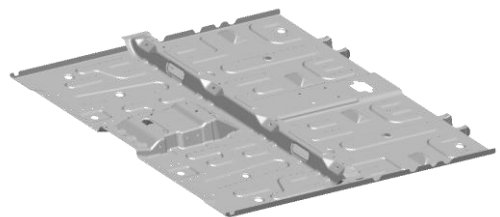
部品の穴あけ
余分な箇所を
レーザーカット

溶接ロボットで
単品同士を
組付ける

完成品を
出荷前に検査

今後は、より高品質・低コスト・短納期を実現していきます。

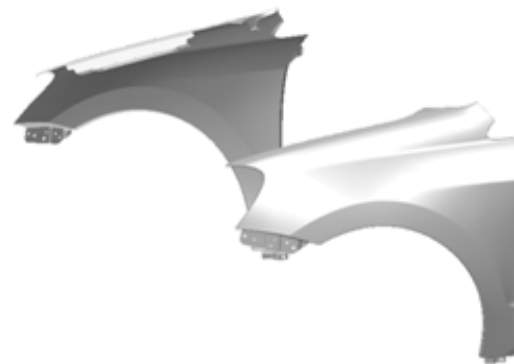
トピアの主な製品（自動車関係では・・・）



Front-Floor



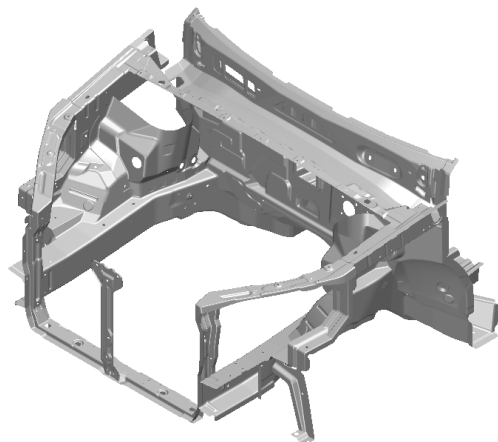
Roof



Front Fender



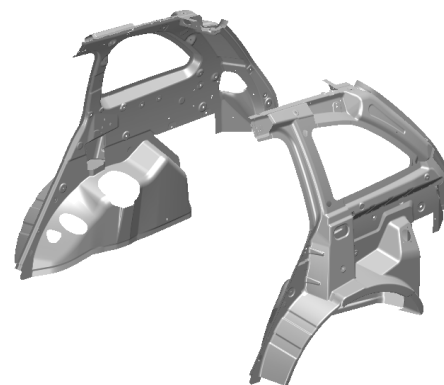
Front Door
Outer & Inner



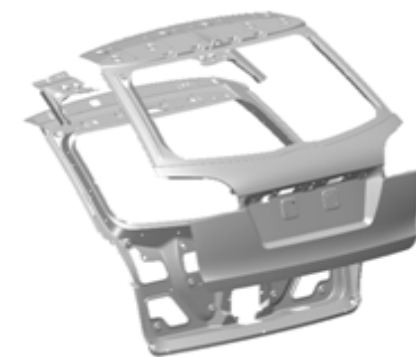
Front-Frame



Side Body Outer



Wheel-House &
Outer



Back Door
Outer & Inner

神奈川事業所での取り組み

自動車・航空宇宙業界で
注目されている

CFRP（カーボン繊維強化プラスチック）

GFRP（ガラス繊維強化プラスチック）

天然繊維などの複合材

を使った製品の設計・試作・
小ロット量産をしています。



神奈川事業所

ショールーム



カーボン素材を使った製品

エンジニアたちは
設計者の想いを形にするため

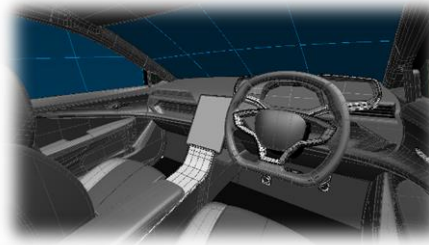
精度を求めてトライ＆エラーを繰り返し、
新しい製品を生み出しています。

トピアの今後の展望について

試作だけでなく次工程の量産へ
電気自動車を自社制作しました。



公募デザイン



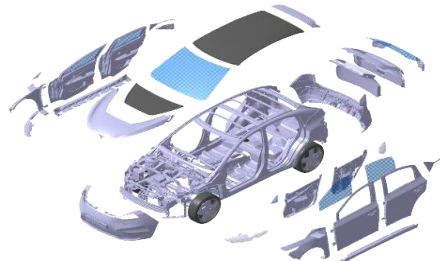
3Dデータ化



2022 Grand-Huvo



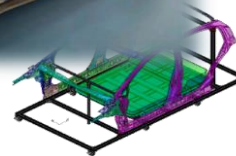
縮小モデル製作



単品データ化



部品製作



エンジニアリングプロダクトチェーンを構築しています。

グローバルな取り組み



常熟トピア（中国）



TPAM（アメリカ オハイオ州）



TVEC（ベトナム ホーチミン）

海外7か国のグループ会社で様々な国籍の方が活躍しています。

外国籍労働者の雇用状況

外国籍の従業員	102名（全体の14.0%）
国籍	ベトナム、中国、アメリカ、ネパール、バングラデシュ、フィリピン ブラジル、ペルー、ボリビア
雇用区分	正社員52名、実習生・特定技能45名、契約社員5名
外国籍従業員の平均年齢	31.1歳



ベトナム高度人材 入社セレモニーの様子



2023年11月に開催したトピア創立50周年式典にて

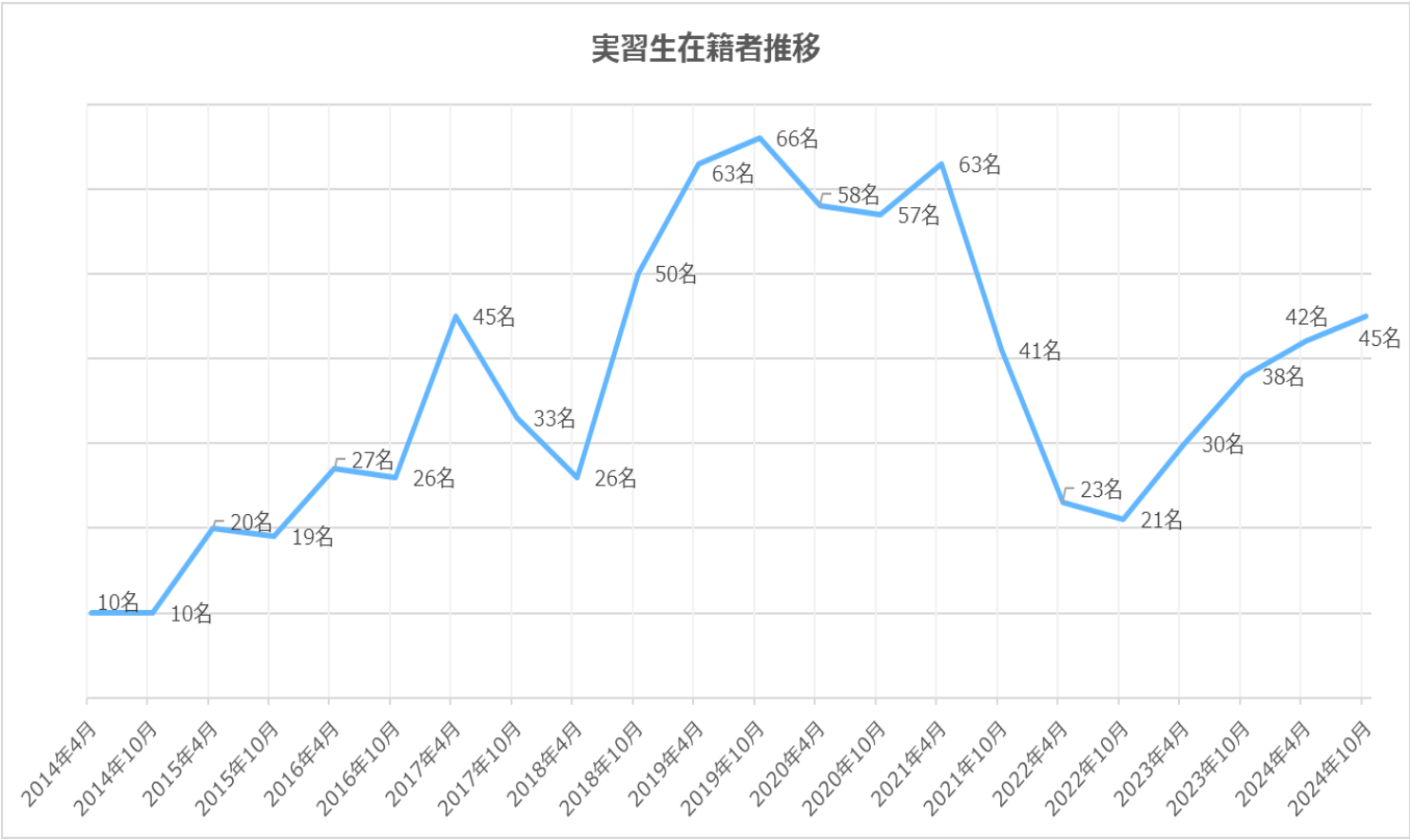
様々な国籍の方に勤務して頂いています。皆さん当社に欠かせない人財として日々業務に励んでいます。

技能実習生の受入について

受け入れ開始	2014年4月～
いままでの総受入数	162名
現在の受入数	45名
受入国籍	中国、ベトナム、 フィリピン



技能実習生新規採用時の様子（中国大連にて）



いままで160名以上の実習生を受け入れています。来月には中国から6名受入予定であり、将来は中国の工場働いて頂く予定です。今後も積極的に外国籍の従業員の雇用に取り組みます。

常熟トピア



常熟トピアから本社へ研修に来た方達と食事会の様子



常熟トピアで幹部として活躍している元実習生

当社のグループ会社である常熟トピア（中国）には日本トピアで技術を学んだ多くの元実習生（約20名）が活躍しています。
※中には常熟トピアの中核を担う管理職として活躍している元実習生もいます。

日本語教室



主に高度人材(ベトナム)、技能実習生を対象として日本語能力向上のため、外部講師を招き日本語教室を週2回(120分/回)実施しています。
結果、高度人材は全員がN3以上、実習生(日本語教室受講1年以上)は半数以上がN4以上のJLPTを取得しています。2023年の7月には技能実習生で当社初のN1合格者も出ました。

英語教室



当社で直接雇用しているアメリカ人講師による従業員向け英語教室を実施し、グローバルな活躍が出来る人財の育成にも積極的に取り組んでいます。

2023年7月31日 ベトナム駐日大使 来社



当社で勤務するベトナム国籍従業員への激励を兼ねてヒエウ大使がベトナムの名誉領事（鈴鹿市）である谷口氏と共に来社頂き、日本語の必要性や日本の文化に早く慣れる重要性について談話をして頂きました。

技能実習生（含高度人材）が日本に来る目的は

- ①出稼ぎと同じでお金を家族へ送金するため
- ②技術習得のため
- ③海外（日本）の現地法人で好条件で働きたい

問題

- ①日本語でコミュニケーションが取れないので技術習得に時間がかかる。
- ②日本の文化、習慣を知らないので法律（生活ルール）を知らない。
- ③知り合いが少ないので寂しい思いをしている人が多い。



しっかりとルールを教えてあげればわかってくれて守れる人たちです。

要望

①コミュニティを増やして欲しい

⇒安心して生活できるように、良い仲間を増やし相談できる仲間を増やしてあげたい

②補助金を検討してもらいたい

⇒日本語はすぐには覚えられない

当社でも日本語講師を招いて教育をしているが費用と時間が掛かります。補助金があればもっと彼らが喜んで仕事をし、安心して生活できる環境を整えたい。



先行投資にはなりますが、お互いにWIN-WINの関係になれると信じています